

2012年4月1日～2021年3月31日の間に当科において 門脈圧亢進症関連疾患に対する治療を受けられた方およびご家族の方へ

—「門脈圧亢進症関連疾患に対する治療成績の実態調査」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学肝胆膵内科学 臨床助教 大海 宏暢
研究分担者 川崎医科大学肝胆膵内科学 教授 日野 啓輔
川崎医科大学肝胆膵内科学 准教授 仁科 惣治
川崎医科大学肝胆膵内科学 講師 富山 恭行
川崎医科大学肝胆膵内科学 講師 吉岡 奈穂子

1. 研究の概要

門脈圧亢進症関連疾患とは、肝不全、消化管静脈瘤破裂、腹水貯留、肝性脳症、貧血や血小板減少症、門脈血栓症、耐糖能異常などを引き起こす全身の症候群であります。治療選択は、病態によって内視鏡的治療、経カテーテル的治療、薬物療法、外科的治療など多岐にわたります。実臨床における治療効果および治療成績を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012年4月1日から2021年3月31日の期間で門脈圧亢進症関連疾患に対する治療を受けた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022年3月31日

3) 研究方法

2012年4月から2021年3月までの期間で、門脈圧亢進症関連疾患に対する内視鏡的治療、経カテーテル的治療、薬物療法の成績について情報収集し、データの解析を行います。年齢、性別、基礎疾患、肝機能検査、画像検査での治療効果判定、有害事象について後ろ向きに情報収集を行い、奏効率と生存率、有害事象に関する分析を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、基礎疾患、血液検査、CTやMRI等の画像検査の結果、副作用の発生状況、等

5) 外部への情報の提供

なし

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学肝胆膵内科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年12月1日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 肝・胆・膵内科

氏名：富山 恭行

電話：086-462-1111 内線 44236（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1196

E-Mail：tomiyama@med.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

研究代表機関名 川崎医科大学 肝胆膵内科学

研究代表責任者 川崎医科大学 肝胆膵内科学 教授 日野 啓輔

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。